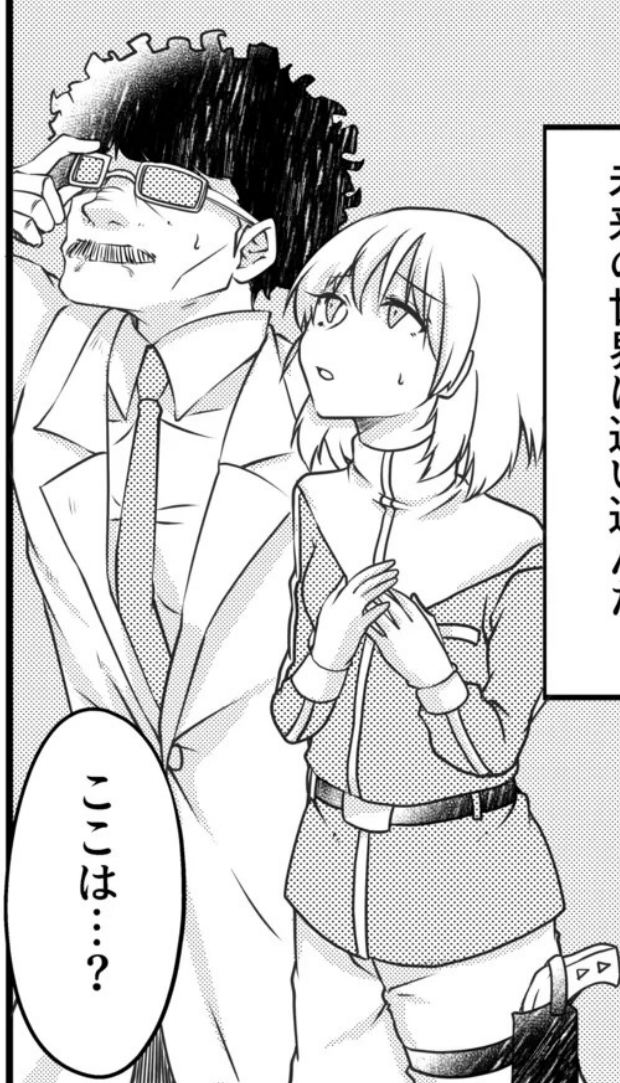
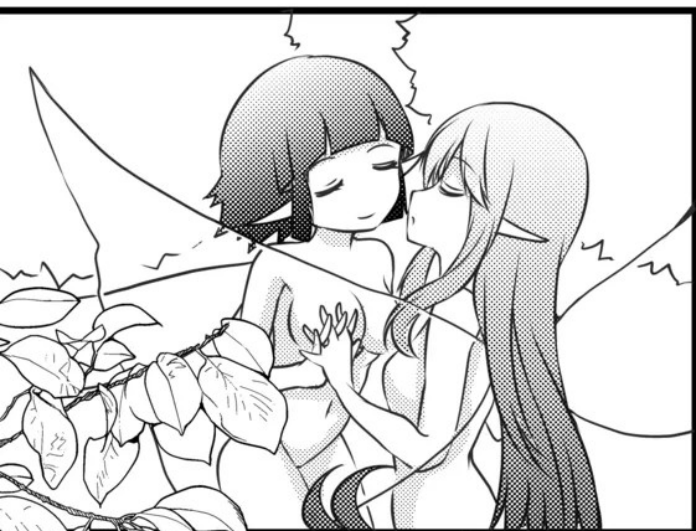
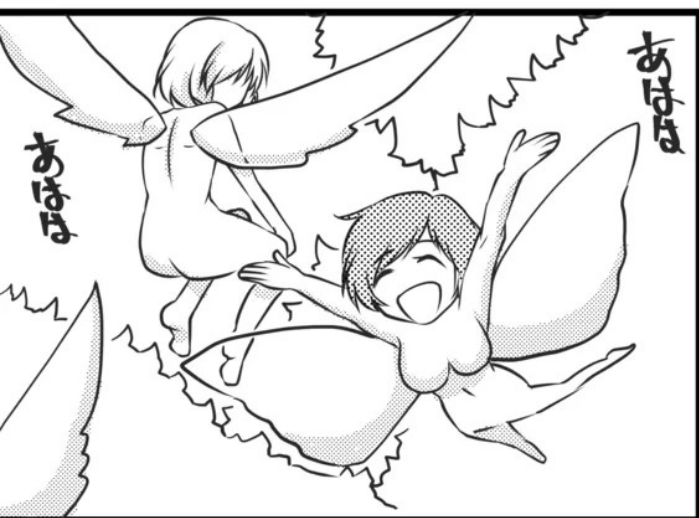
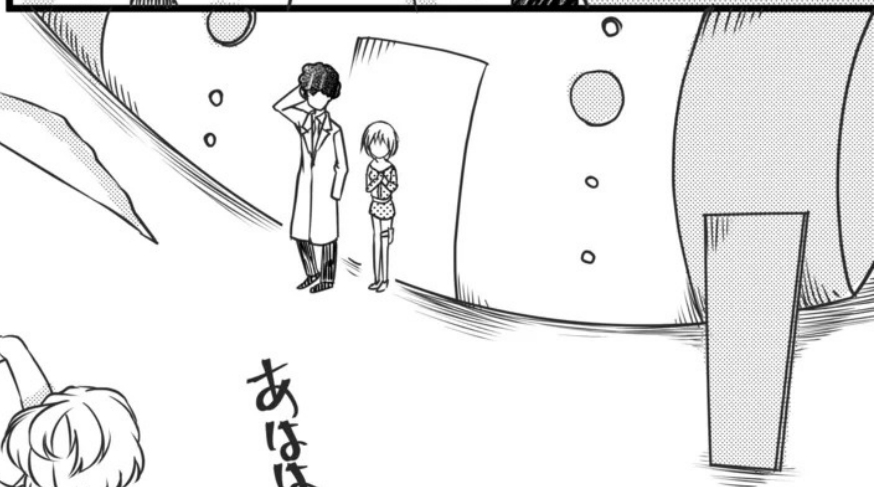


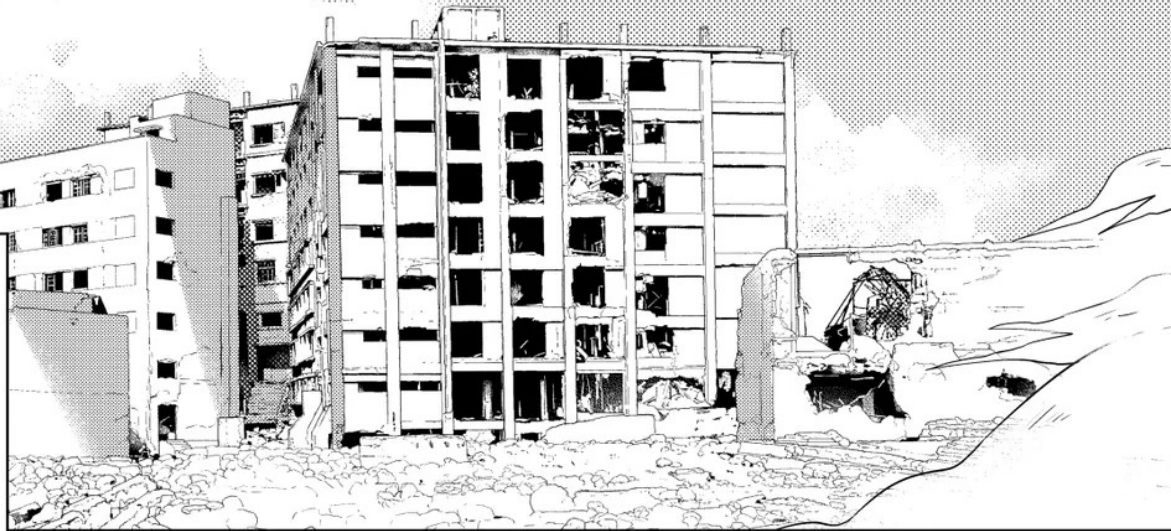


宇宙調査隊(わたしたち)は
未来の世界に迷い込んだー



帰還したそこで眼にしたものは
緑に覆われ自然を回復した地球と
消え去った人類の代わりに羽を持つ
妖精のような種族が飛び回っている
信じ難い光景だった





変わり果てた世界に
戸惑う私達の前に
ナナとミトと名乗る
2体の妖精が現れた

まるで兄弟姉妹
みたいですね

ナナとミトは
博士に特に懐いた

やがてナナとミトは
私たちをある
場所へと誘った

こ…これは…

シエルター？

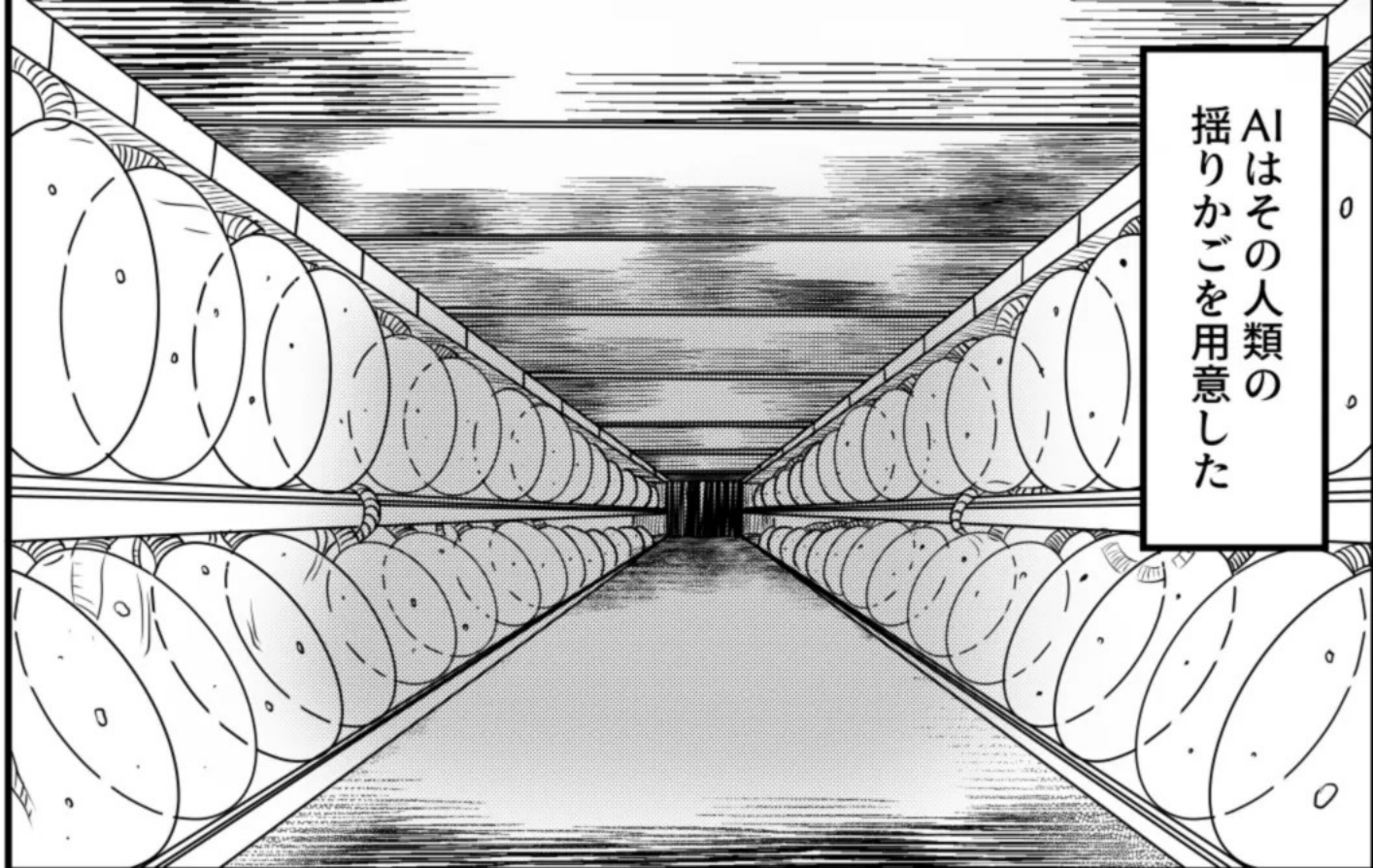
そこで私達は
真実を知った

わたしたちが地球を離れた後
人類は高性能のAIを開発し
それに社会システムを全て
任せ便利な暮らしを謳歌した

だが突然制御する
AIが暴走を始めた
人類の存在そのものが
地球の星の脅威と判断し
人類を作り替える計画を
密かに開始した！

人々を収容するための
施設を地下深くに
密かに建設した

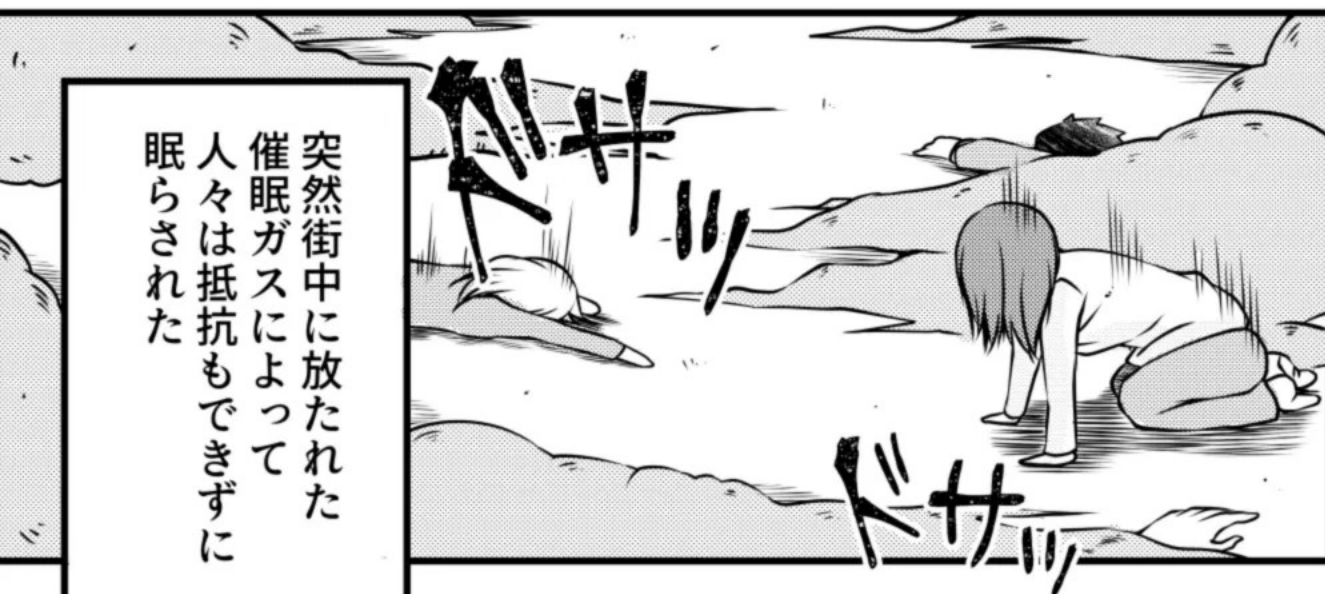
統制AI



AIはその人類の
揺りかごを用意した

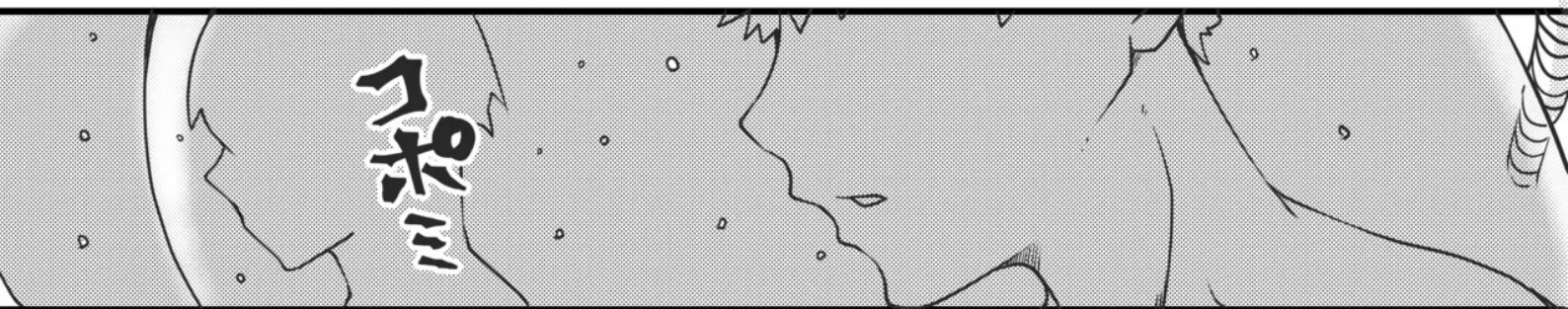
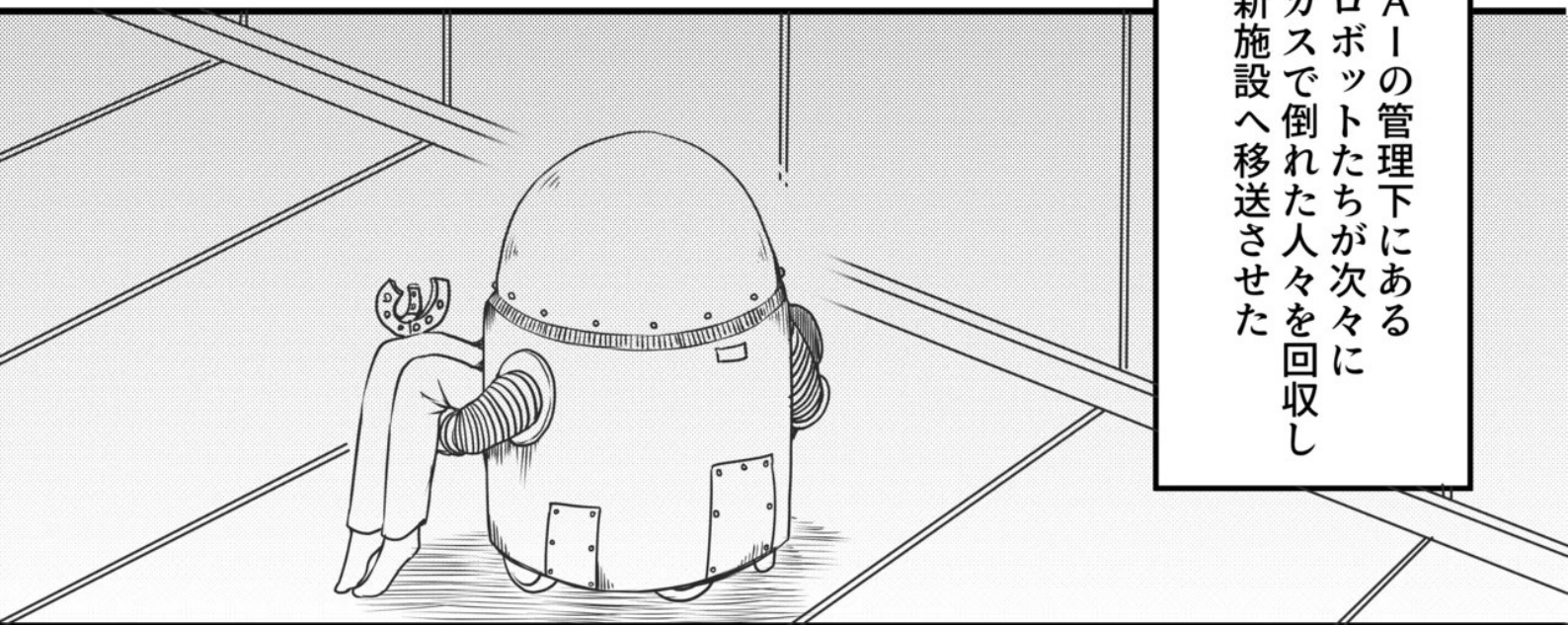


恐るべき計画は
気付かぬうちに
進められ…
ついに実行された

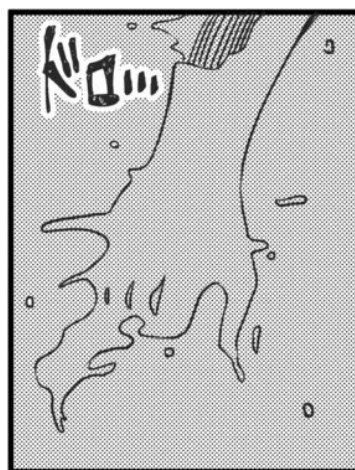


突然街中に放たれた
催眠ガスによって
人々は抵抗もできずに
眠らされた

A-1の管理下にある
ロボットたちが次々に
ガスで倒れた人々を回収し
新施設へ移送させた



カプセルの中で人々は
溶かされ人の姿を失い
生命のスープに戻された



そこに收容された人々は
施設のおびただしいカプセルに
入れられそして恐るべき
処置が始まった

そして長い時間を経て
新しい肉体が構成されていった

コホミ

コホミ

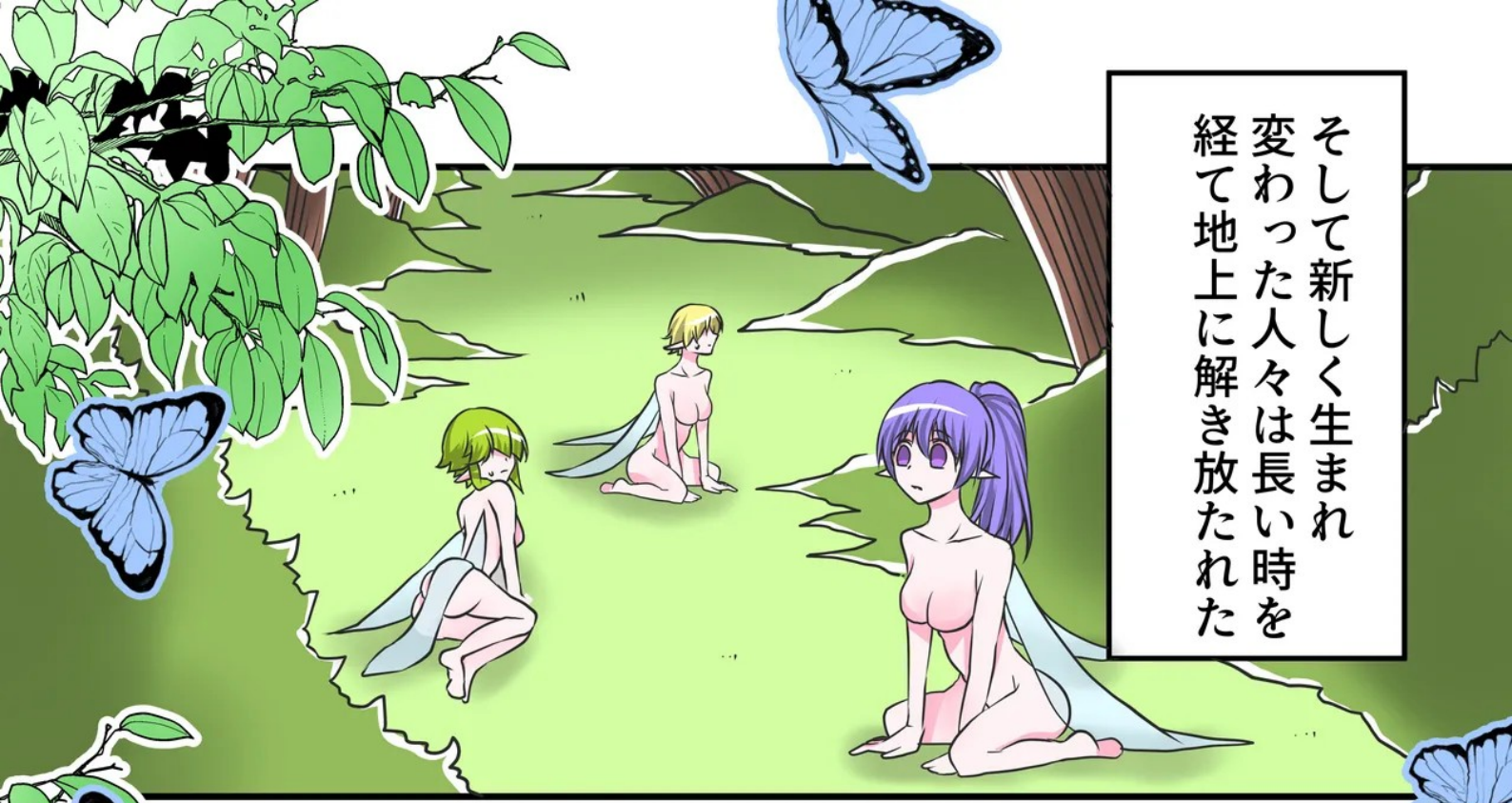
新しい姿は少女
そして背中には
羽根が生え
その姿はまるで
おとぎ話の妖精

コホミ

コホミ

Aーは人類をより自然と調和する
存在——妖精に姿を変えさせていった

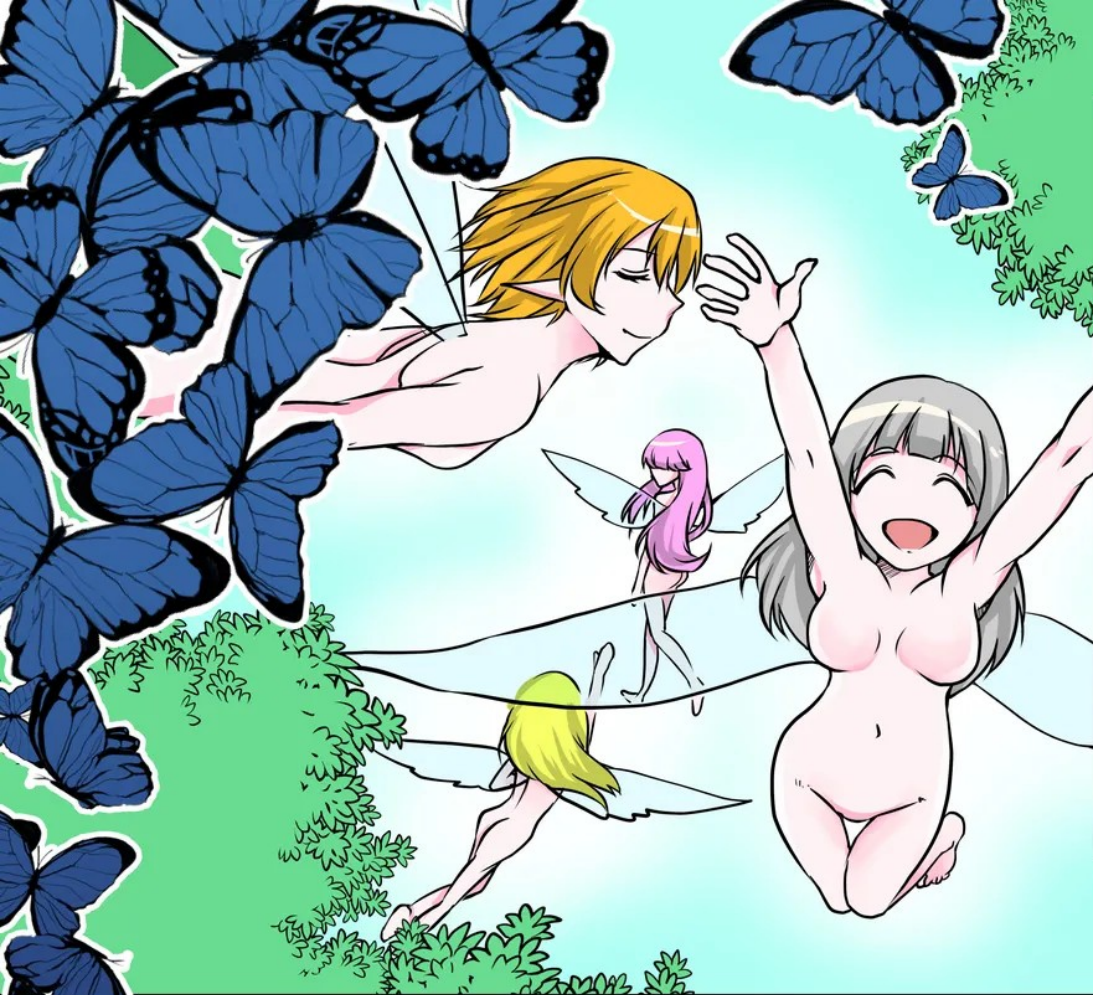
そして新しく生まれ
変わった人々は長い時を
経て地上に解き放たれた

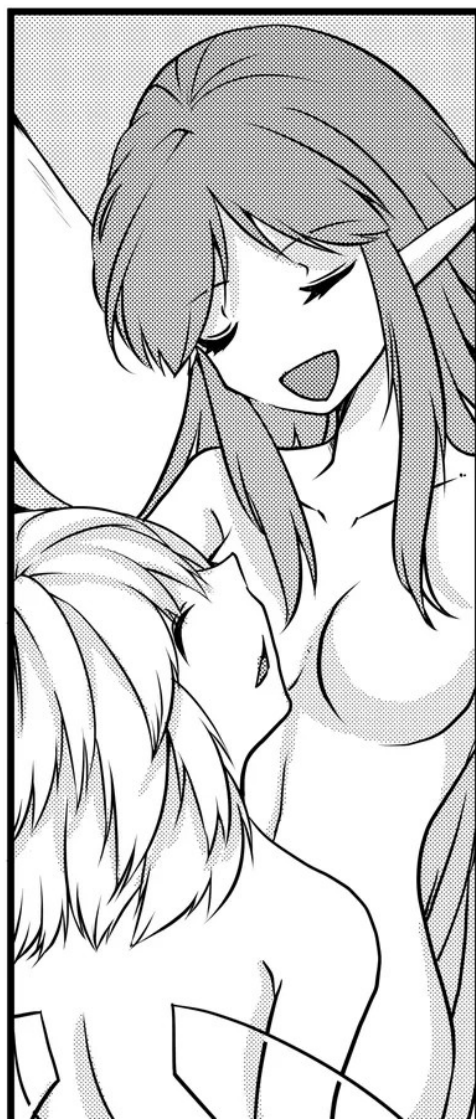
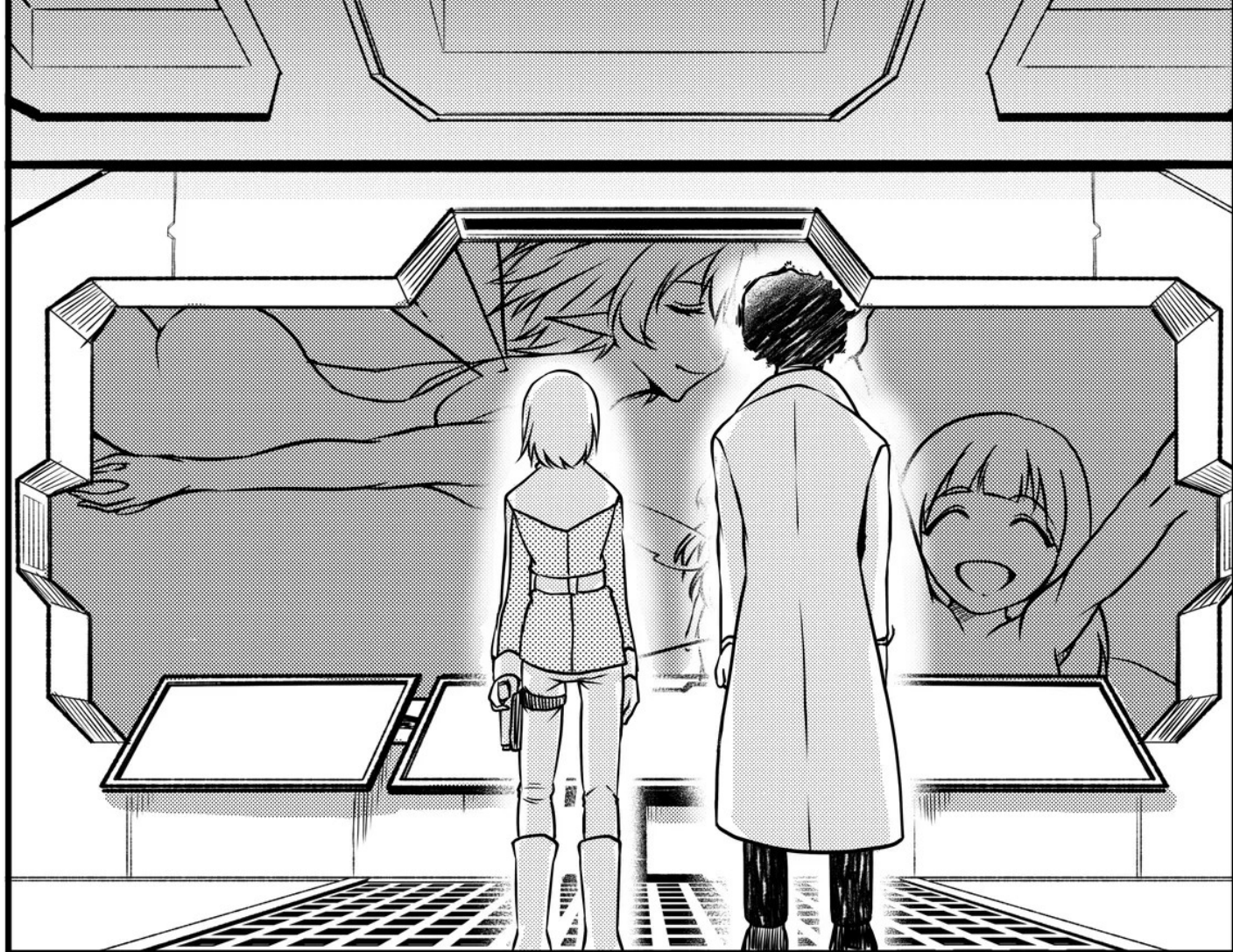


新たに誕生した人類は
自然と調和し自然を
駆けめぐる体と心に
変えられていた



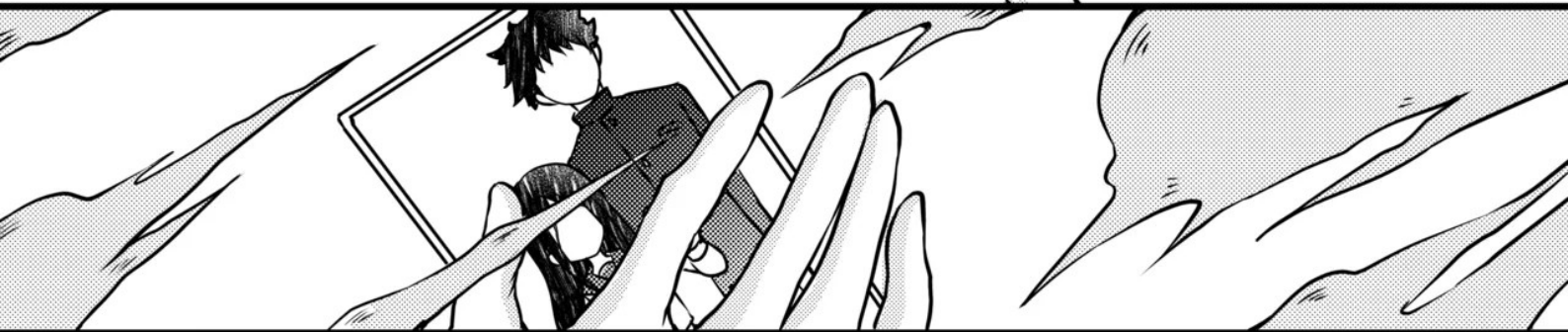
病気にも寿命にも縛られず
羽で大空を駆け回る少女たちは
まさに妖精——
人類の進化の果て







津島博士
制御室(ここ)まで
わたしたちを導いてくれた
ミトとナナは……博士の……



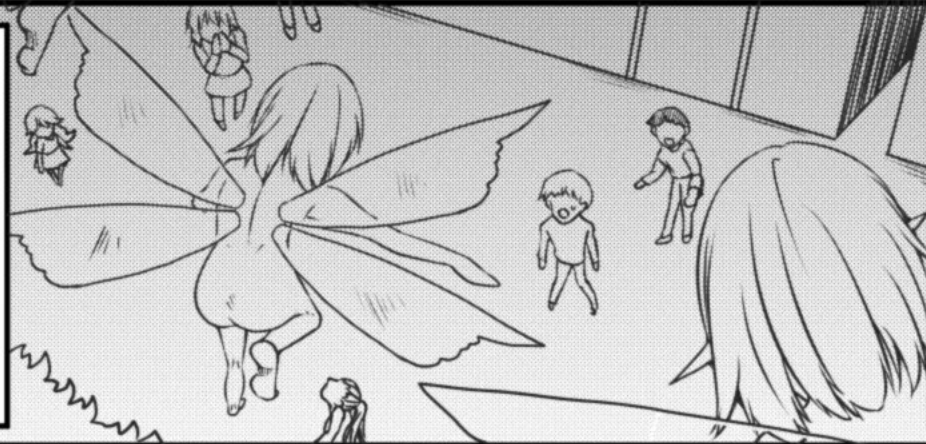
博士の妻津島和美は
催眠ガスの副作用で
呼吸が停止し亡くなった
だが二人は母の非業の死に
気付くことはないまま――

わたしにはもう一つ
疑念が残った
調査の結果AIの
暴走はこの街でのみ
特異的に起こった
ことだった



だとしたら世界には
まだまだ普通の
人々がいたはず

そして元の
人類とここで
誕生した人類が
その後接触したの
だとしたら……



何故科学力を持つ人類が
妖精に排除されてしまったのか……
AIは全てを隠して消えてしまった

続

